

レトロビルカプセル 100mg

【この薬は？】

販売名	レトロビルカプセル 100mg Retrovir Capsules
一般名	ジドブジン（別名アジドチミジン） Zidovudine (AZT)
含有量 (1カプセル中)	ジドブジン 100mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」

<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、抗ウイルス剤（ヌクレオシド系逆転写酵素阻害剤）と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、H I V（ヒト免疫不全ウイルス）の逆転写酵素を阻害してウイルスの増殖をおさえます。
- ・次の病気の人に処方されます。

H I V 感染症

- ・この薬は他の抗H I V剤と併用されます。
- ・この薬を、体調がよくなったと自己判断で使用を中止したり、量を加減したりすると、病気が悪化したり効きにくくなるおそれがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- この薬の使用中に骨髄抑制（鼻血、息切れ、あおあざができる、歯ぐきの出血、出血が止まりにくい、発熱、寒気、喉の痛み、頭が重い、動悸（どうき））があら

われるので、この薬を飲んでいる間は頻回に血液検査などが行われます。【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】に書かれていることに特に注意してください。

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・ 好中球数が $750/\text{mm}^3$ 未満またはヘモグロビン濃度が 7.5g/dL 未満の人（ただし、H I V感染症によるものであり、この薬や他のH I V感染症の薬を服用したことのない人は除く）
- ・ 過去にレトロビルカプセルに含まれる成分で過敏症のあった人
- ・ イブプロフェンを使用中の人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・ 好中球数が $750/\text{mm}^3$ 未満またはヘモグロビン濃度が 7.5g/dL 未満の人（ただし、H I V感染症によるものであり、この薬や他のH I V感染症の薬を服用したことのない人）
- ・ 好中球数が $750/\text{mm}^3$ 以上 $1,000/\text{mm}^3$ 未満、またはヘモグロビン濃度が 7.5g/dL 以上 9.5g/dL 未満の人
- ・ ビタミンB₁₂欠乏症の人
- ・ 腎臓または肝臓に障害のある人
- ・ 妊婦または妊娠している可能性のある人
- ・ 授乳中の人

○この薬には併用してはいけない薬[イブプロフェン製剤（ブルフェン）]や、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量と回数は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。
通常、成人は、1日5～6カプセルを2～6回に分けて飲みます。

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次に飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

○この薬は、患者さんやそれに代わる適切な人が次の点について十分に理解できるまで説明を受け、同意してから使用が開始されます。

- ・ この薬はH I V感染症を根本的に治すものではありません。この薬を飲んでいても、病気が進行する可能性がありますので、身体状況の変化は全て主治医に報告してください。

- ・この薬を含む現在のH I V感染症の治療が、性的接触や血液を通した他者へのH I V感染の危険性を低下させるかどうかについては証明されていません。
 - ・この薬は他の薬との飲み合わせなどに注意する必要があります。現在使っている薬を全て主治医に報告してください。また、新たに薬を使い始める場合はあらかじめ主治医に相談してください。
- この薬により、骨髄抑制がおこることあるので、飲み始めの3ヵ月間は少なくとも2週間に1度、その後は最低1ヵ月に1度、定期的に血液検査などが行われます。
- 重篤な血液障害、うっ血性心不全、乳酸アシドーシス及び脂肪沈着による重度の肝腫大（脂肪肝）、てんかん様発作、膵炎があらわれることがあるので、定期的に検査などが行われます。
- この薬により、脂肪組織が少なくなることがあるので、検査などが行われます。
- この薬を含めて、複数のH I V感染症の治療薬を飲み始めた後、免疫力が回復し、日和見感染などに対する炎症反応（発熱、下痢など）があらわれたり悪化したり、自己免疫疾患*（甲状腺機能亢進症、多発性筋炎、ギラン・バレー症候群、ブドウ膜炎など）があらわれることがあります。
- *自己免疫疾患：自分自身の正常な細胞や組織に対して過剰な免疫反応が起こるために発症する疾患
- 妊婦または妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。
- 授乳を避けてください。
- 他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。


重大な副作用	主な自覚症状
重篤な血液障害(再生不良性貧血、赤芽球癆、汎血球減少、貧血、白血球減少、好中球減少、血小板減少) <small>じゅうとくなけつえきしょうがい(さいせいふりょうせいひんけつ、せきがきゅうろう、はんけつきゅうげんしょう、ひんけつ、はつけつきゅうげんしょう、こうちゅうきゅうげんしょう、けっしょうばんげんしょう)</small>	発熱、寒気、喉の痛み、鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい、頭が重い、動悸、息切れ、めまい、体がだるい、頭痛、耳鳴り、出血しやすい、突然の高熱
うっ血性心不全 <small>うつけつせいしんふぜん</small>	息苦しい、息切れ、疲れやすい、むくみ、体重の増加
乳酸アシドーシス <small>にゅうさんアシドーシス</small>	頭痛、眠くなる、意識の低下
脂肪沈着による重度の肝腫大(脂肪肝) <small>しぼうちんちゃくによるじゅうどのかんしゅだい(しぼうかん)</small>	体がだるい、吐き気、食欲不振、発熱、腹痛、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、体がかゆくなる、尿の色が濃くなる

てんかん様発作 てんかんようほっさ	顔や手足の筋肉がぴくつく、一時的にボーっとする、意識の低下、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える
膵炎 すいえん	強い腹痛、背中の痛み、お腹が張る、吐き気、嘔吐（おうと）、体重が減る、喉が渇く、尿量が増える、皮膚が黄色くなる、油っぽい下痢が出る

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	寒気、出血が止まりにくい、出血しやすい、突然の高熱、むくみ、体重の増加、疲れやすい、体がかゆくなる、体がだるい、発熱、顔や手足の筋肉がぴくつく、体重が減る
頭部	めまい、頭が重い、頭痛、眠くなる、意識の低下、一時的にボーっとする
顔面	鼻血
眼	白目が黄色くなる
耳	耳鳴り
口や喉	喉の痛み、歯ぐきの出血、喉が渇く、吐き気、嘔吐
胸部	息切れ、動悸、息苦しい
腹部	食欲不振、腹痛、お腹が張る、強い腹痛
背中	背中の痛み
手・足	手足の筋肉が硬直しガクガクと震える
皮膚	あおあざができる、皮膚が黄色くなる
尿	尿の色が濃くなる、尿量が増える
便	油っぽい下痢が出る

【この薬の形は？】

	硬カプセル
形状	
全長	15.7mm
厚さ	5.7mm
重さ	280mg
色	白色（不透明）
識別コード	GSYJU

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	ジドブジン
添加物	トウモロコシデンプン、結晶セルロース、デンプングリコール酸ナトリウム、ステアリン酸マグネシウム、ゼラチン、酸化チタン

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

販売会社：グラクソ・スミスクライン株式会社

(<http://jp.gsk.com>)

ヴィーブヘルスケア・カスタマー・サービス

電話：0120-066-525

受付時間：9時～17時45分（土、日、祝日および当社休業日を除く）

製造販売会社：ヴィーブヘルスケア株式会社

(<http://glaxosmithkline.co.jp/viiv/index.html>)